

シネラ・ニュース  
September 2023



特別企画 三國連太郎生誕100年を記念して特集

生誕100年

# 三國連太郎

## 映画祭

善魔 ©1951 松竹株式会社



神々の深き欲望



泥棒物語



息子

©1991 松竹株式会社

特別企画

チャン・リュル監督の福岡三部作(『<sup>がちょう</sup>群山: 鷺鳥を詠う』『福岡』『柳川』)の中から『柳川』を上映

## チャン・リュル氏 2023年(第33回)福岡アジア文化賞芸術・文化賞 受賞記念上映



芸術・文化賞  
張律(チャン・リュル)氏

国籍・国境を越えた比類なき「東アジア映画」を創り続ける映画監督

アジア各国のスタッフ・キャストと協働しながら中国・韓国・日本の地方都市を舞台に据えて、国籍・国境を越えた独創的な作品を創り続けている。三部作『群山: 鷺鳥を詠う』『福岡』『柳川』は、多国籍の映画人が創り上げた全く新しい「東アジア映画」である。その作品世界においても異文化の融和や共生のビジョンを表現し、世界的に高く評価されている。

**特別企画** 三國連太郎  
生誕100年を  
記念して特集

会 期：9月6日(水)  
～ 24日(日)  
※休館日・休映日除く  
観覧料：600円(大人)  
500円(大学生・高校生)  
400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。  
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)  
※障がい者の方(介助者1人を含む)及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの原本の提示が必要です。)  
※「わたすクラブ」会員の方は300円。(会員証の原本の提示が必要です。)

# 生誕100年 三國連太郎 映画祭

6 水 15 金  
11:00 11:00

## 善魔



©1951 松竹株式会社

監督：木下恵介  
出演：森雅之、淡島千景

1951年 / 16ミリ / モノクロ / 108分 / 松竹

T新報社の社会部記者三國連太郎(三國連太郎)は、部長の中沼(森雅之)より、家出をした某官庁官吏北浦氏の妻伊都子(淡島千景)の動静をさぐるように命じられた。連太郎は淡々ながらも長野原に隠棲する伊都子の父を訪ね、伊都子の妹三香子の案内で久能山麓の親友の家にいる伊都子に会いその心境を聞くのだった。三國はこのデビュー作でブルーリボン新人賞を受賞。

7 木 17 日  
11:00 11:00

## 本日休診



※収蔵作品

監督：渋谷実  
出演：柳永二郎、佐田啓二

1952年 / 35ミリ / モノクロ / 98分 / 松竹

三雲医院は開業して1年を迎えようとしていた。看護師さんたちは温泉旅行に出かけ、「本日休診」の札を出した三雲先生は、のんびり休日を楽しもうと思っていた。ところがそんな日に限って次から次へと患者がやってきて、三雲先生は大忙しとなる。原作は井伏鱒二。戦後間もない時期の下町の人々の生活をユーモアと哀愁を込めて描いた渋谷実監督のコメディ映画の代表作。

8 金 18 月・祝  
11:00 11:00

## 警察日記



監督：久松静児  
出演：森繁久彌、宍戸錠

1955年 / 35ミリ / モノクロ / 111分 / 日活

1952年に刊行された伊藤永之介の同名小説を映画化した作品で、会津磐梯山麓の小さな町を舞台に、警察官とその町に暮らす人々のエピソードをスケッチ風に描く。身売りに出された少女を保護する純朴な青年警官役を三國が演じ、強い印象を残した。森繁はこの作品で第10回毎日映画コンクール男優主演賞を受賞。また若き宍戸錠が本作でスクリーン・デビューしている。

6 水 17 日  
14:00 14:00

## 切腹



監督：小林正樹 ※収蔵作品  
出演：仲代達矢、岩下志麻

1962年 / 35ミリ / モノクロ / 134分 / 松竹京都

江戸時代。浪人・津雲半四郎が井伊家に現れ、切腹するので庭先を借りたいという。半年前にも同様の事件があり、今回も同じかきと判断した家老は半四郎を追い返そうとするが、半四郎は切腹をすると言ってきかない。何故半四郎が切腹したいのか次第に真実が明かされる橋本忍脚本が見事。仲代達矢の鬼気迫る演技も素晴らしく、カンヌ映画祭で審査員特別賞を受賞した時代劇の傑作。

7 木 15 金 21 木  
14:00 14:00 14:00

## 飢餓海峡



監督：内田吐夢 ※収蔵作品  
出演：伴 淳三郎、左幸子

1964年 / 35ミリ / モノクロ / 182分 / 東映

昭和22年。函館で三人組の男が質屋を襲い放火をする。主犯の犬飼多吉は、仲間の二人も殺害し本州に姿を消す。函館署の刑事・弓坂は犬飼の行方を追うが不明だった。そして10年の歳月が流れるが、弓坂の執念の捜査は続いていた。原作は水上勉の小説。弓坂刑事を演じる伴淳三郎の演技は特筆もの。本作は芸術選奨文部大臣賞など数々の賞に輝く日本映画の名作の1本となった。

9 土 14 木 24 日  
11:00 14:00 11:00

## 泥棒物語



監督：山本薩夫  
出演：伊藤雄之助、花沢徳衛

1965年 / 35ミリ / モノクロ / 117分 / 東映

土蔵破りの義助(三國連太郎)はある夜、線路沿いの道で屈強な九人の男たちとすれ違う。その日の明け方に、杉山駅で列車の転覆事故が発生。無実の罪を着せられた共産党員らが逮捕されてしまう。義助は、自分が証言をすれば彼らを助けることができるが、自分が泥棒であることがばれてしまうと、思い悩む。三國は本作でキネマ旬報賞と毎日映画コンクールの主演男優賞を受賞。

## 三國連太郎略歴

本名：佐藤政雄(さとうまさお)

1923年1月20日、群馬県太田市生まれ。のちに父の故郷である静岡県西伊豆へ転居。旧制中学を2年で中退するまで土肥町(現在の伊豆市)で育つ。下田港から密航を企て青島に渡り、その後釜山で弁当売りをし、帰国後は大阪で皿洗い、ペンキ塗り、旋盤工などさまざまな職に就く。

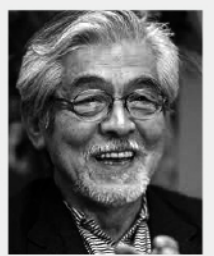
第2次世界大戦中の1943年、中国に出征する。帰還後、スカウトされて松竹大船撮影所の研究生になった。1951年、木下恵介監督の「善魔」でデビューし、同作の役名を芸名にする。その後、「ビルマの豎琴」(56)、「飢餓海峡」(65)といった作品で主演を務め、日本映画界を長年支え続ける。初の監督作「親鸞 白い道」(87)は、カンヌ国際映画祭で審査員特別賞を受賞した。

1988年に始まった「釣りバカ日誌」シリーズは国民的な人気を誇り、三國演じるスーさんと西田敏行演じるハマちゃんのコブヒは、多くのファンに支持される。同シリーズは、最終作「釣りバカ日誌20ファイナル」(09)まで22年にわたり計22作品が製作された。その他の出演作に「利休」(89)、「三たびの海峡」(95)、「大河の一滴」(01)など。息子の佐藤浩治とは、映画版「美味しんぼ」(96)、「大鹿村騒動記」(11)で共演している。

社会派作品から娯楽大作まで、主演・助演を問わず幅広く出演。生涯の映画出演数は180本余りに及ぶ。男優としての各映画賞受賞歴は10回以上。1984年に紫綬褒章、1993年に勲四等旭日小綬章を受賞。

名匠・稲垣浩監督は若き日の三國について「見方によっては子供っぽいところがあるが、その子供っぽさのなかには、ほかの俳優が持っていないような筋金に通っているようでもある。つまり、サラリーマンではない役者、それが三國連太郎なのである」「クセのある俳優といえは三國連太郎にとどめを刺すだろう」と語っている。

2013年4月14日、急性心不全のため90歳で死去。



8 金 14:00 23 土 祝 14:00

# 神々の 深き欲望



監督:今村昌平 ※収蔵作品  
出演:北村和夫、河原崎長一郎  
1968年 / 35ミリ / カラー / 174分 / 日活

13 水 11:00 16 土 11:00 21 木 11:00

# 真剣勝負



監督:内田吐夢 ※収蔵作品  
出演:中村錦之助、沖山秀子  
1971年 / 35ミリ / カラー / 76分 / 東宝

10 日 11:00 22 金 11:00

# 戒厳令



監督:吉田喜重 ©1973 現代映画社 / 東宝  
出演:松村康世、菅野忠彦  
1973年 / 35ミリ / モノクロ / 111分 / ATG=東宝

14 木 11:00 23 土 祝 11:00

# 記者ありき 六鼓・菊竹淳



演出:木村栄文 ※収蔵作品  
出演:三國連太郎  
1977年 / デジタル / カラー / 86分 / RKB毎日放送

9 土 14:00 18 月 祝 14:00

# 復讐するは 我にあり



監督:今村昌平 ©1979 松竹株式会社 / 株式会社今村プロダクション  
出演:緒形拳、倍賞美津子  
1979年 / 35ミリ / カラー / 140分 / 松竹

クラゲ島という南洋の島。島ではノロという巫女を中心とした土着の宗教が信じられていた。しかし区長は東京の資本と手を結び、田をサトウキビの畑に変えていく。今村昌平監督のオリジナル脚本による物語。クラゲ島は架空の島だが沖縄や奄美地方の風俗が参考にされている。日本人とは何か、近代化による社会の変質など今村監督らしい問題意識が織り込まれた代表作の1本。

宮本武蔵(中村錦之助)は、枯れ野の一軒家、宍戸梅軒の家で一晩の宿をとる。夜酒を飲み談じる内に梅軒は、武蔵こそが女房お棋の兄を殺した仇であることを悟る。梅軒は手下の8人衆を集めて武蔵を襲わせるが、武蔵は彼らを次々と倒していく。そして鎖鎌の達人・梅軒と対決する。本作は「宮本武蔵」5部作の番外編。同時に内田吐夢監督の遺作となった。本作は武蔵と宍戸梅軒夫婦の一日の物語であり、小品とは思えない一級の娯楽時代劇となっている。

『日本改造法案大綱』を著した北一輝(三國連太郎)は、多くの若者に影響を与え、自らの思想を実行に移す機会をうかがっていた。五・一五のクーデターに失敗後、血気にはやる青年将校たちは時期を待ちきれず一輝の態度に煮えきらないものを感じる。自分の意に反し、その思想が予想外にふくらんでいくのに戸惑う一輝。そして雪降る2月26日が来て…。脚本は劇作家の別役実。

五・一五事件に際して大手新聞社が軒並み軍部支持を掲げるなか、ファシズムを痛烈に批判し続けた福岡日日新聞社(現・西日本新聞社)の記者・菊竹淳(すなお)。筆名を六鼓。その人間性と思想に迫るドキュメンタリー。三國連太郎が菊竹を演じるのだが、木村栄文の演出は再現ドラマと呼ぶにはあまりにもアヴァンギャルド。はかま姿の菊竹が現代の街を歩き、新聞社を訪ねる。

全国で詐欺、窃盗を重ねた上に五人を殺害し、その犯行歴から「黒い金メダリスト」と揶揄された昭和の大悪人・西口彰をモデルに描く実録映画。『パラサイト』のポン・ジュノ監督も影響を受けたと公言する、名匠・今村昌平の大傑作。三國は主人公・榎津嶺(緒形拳)の父親で、敬虔なカトリック信者である鎮雄を熱演。ブルーリボン賞、キネマ旬報賞、報知映画賞で助演男優賞を受賞。

10 日 14:00 22 金 14:00

# 利休



監督:勅使河原宏 ©1989 松竹株式会社  
出演:三田佳子、松本幸四郎  
1989年 / 35ミリ / カラー / 135分 / 松竹

13 水 14:00 24 日 14:00

# 息子



監督:山田洋次 ©1991 松竹株式会社  
出演:永瀬正敏、和久井映見  
1991年 / 35ミリ / カラー / 121分 / 松竹

天正10年、利休(三國連太郎)は茶頭として信長に仕えていたが、本能寺の変で信長は明智光秀に殺された。数年後利休は信長の後継者として力を伸ばしてきた秀吉の茶頭となった。利休は茶の湯を通して全国の武将を魅了し、わびの極致と言われる京都・山崎の待庵など贅の限りを尽くし自分の世界を築いていったが…。ブルーリボン賞、キネマ旬報賞、日本アカデミー賞で(最優秀)主演男優賞を受賞。

東京の居酒屋でアルバイトをしている哲夫(永瀬正敏)は、母の一周忌で帰った故郷の岩手でその不安定な生活を父の昭男(三國連太郎)に戒められる。その後、哲夫は下町の鉄工所にアルバイトで働くようになるが、製品を配達しに行く取引先で征子(和久井映見)という美しい女性に好意を持つ。キネマ旬報賞、日本アカデミー賞、日刊スポーツ映画賞で(最優秀)主演男優賞を受賞。

## 特別企画

チャン・リュル監督の福岡三部作(『群山:鷺鳥を詠う』『福岡』『柳川』)の中から『柳川』を上映

# チャン・リュル氏 2023年(第33回)福岡アジア文化賞芸術・文化賞 受賞記念上映

会期:9月16日(土)14:00  
観覧料:600円(大人) 500円(大学生・高校生)  
400円(中学生・小学生)

※定員制。  
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)  
※障がい者の方(介助者1人を含む)及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの原本の提示が必要です。)  
※「わたすクラブ」会員の方は300円。(会員証の原本の提示が必要です。)  
※上映前にチャン・リュル監督の舞台挨拶を予定しています。

## 上映作品 柳川



監督:チャン・リュル

中年になり自分が不治の病であることを知ったドンは、長年疎遠になっていた兄・チュンを日本・柳川への旅に誘う。柳川是北京語で「リウチュアン」と読み、2人が青春時代に愛した女性「柳川(リウ・チュアン)」と同じだった。20年ほど前、チュンの恋人だったチュアンは、ある日突然、姿を消してしまっただが、今は柳川で暮らしているという。誰にも理由を告げずに消えた彼女の存在は、兄弟の中で解けない謎になっていた。ドンとチュンは、柳川でついにチュアンと再会するが…。

2021年 / デジタル / カラー / 112分 / 中国



1金

休映日

自主上映

2土

第15回 福岡インディペンデント映画祭  
「台湾・プサン」特集

3日

4月

休館日

5火

休映日

生誕

10

0

0

年

三

國

連

太

郎

映

画

祭

6水

11:00 善魔

14:00 切腹

7木

11:00 本日休診

14:00 飢餓海峡

8金

11:00 警察日記

14:00 神々の深き欲望

9土

11:00 につぼん泥棒物語

14:00 復讐するは我にあり

10日

11:00 戒厳令

14:00 利休

11月

休館日

12火

休映日

13水

11:00 真剣勝負

14:00 息子

14木

11:00 記者ありき 六鼓・菊竹淳

14:00 につぼん泥棒物語

15金

11:00 善魔

14:00 飢餓海峡

16土

11:00 真剣勝負

14:00 福岡アジア文化賞受賞記念上映  
柳川 ※舞台挨拶(予定)

17日

11:00 本日休診

14:00 切腹

18月祝

11:00 警察日記

14:00 復讐するは我にあり

19火

休館日

20水

休映日

21木

11:00 真剣勝負

14:00 飢餓海峡

22金

11:00 戒厳令

14:00 利休

23土祝

11:00 記者ありき 六鼓・菊竹淳

14:00 神々の深き欲望

24日

11:00 につぼん泥棒物語

14:00 息子

25月

休館日

26火

休映日

27水▶30土

機器メンテナンス

第15回 福岡インディペンデント映画祭(FIDFF2023)

「台湾・プサン」特集

●「台湾の名優・吳朋奉 追悼上映」

2020年に急逝した台湾の名優・吳朋奉を追悼し主演作品3本を上映。※上映後に元アジアフォーカス・福岡国際映画祭ディレクター 梁木靖弘氏などトークあり。

「お父ちゃんの初七日」

(2009年/35ミリ/カラー/91分/台湾/監督:ワン・ユイリン、エッセイ・リウ)

「天龍一座がゆく」

(2012年/デジタル/カラー/109分/台湾/監督:ワン・ユイリン)

「降河廻遊」 ※日本初公開

(2020年/デジタル/カラー/24分/台湾/監督:朱平)



『降河廻遊』©ZhuPing

●「プサン独立映画セレクション」

日本初公開の短編作品3本を上映。※上映後トークあり。

「川を渡る人」

(2020年/デジタル/カラー/40分/韓国/監督:Lee Nam-Yeong)

「どこにもない時間」

(2021年/デジタル/カラー/21分/韓国/監督:JANG Tae-Goo)

「ソクデ川に白鳥はいるのか」

(2021年/デジタル/カラー/20分/韓国/監督:Lee Seung-Hwa)



『ソクデ川に白鳥はいるのか』  
©プサン独立映画協会

●「映画の街・北九州」小倉昭和館・再建祈念

※無料上映。上映後トークあり

「映画の街・北九州」(2021年/デジタル/カラー/11分/監督:本田克哉)

●スケジュール

- ・9月2日(土)①10:30～「お父ちゃんの初七日」、②12:35～「降河廻遊」、③13:35～「韓国短編3本」、④15:45～「映画の街・北九州」
- ・9月3日(日)①10:30～「降河廻遊」、②11:20～「天龍一座がゆく」、③13:55「韓国短編3本」、④16:00～「映画の街・北九州」

●料金

①～③1プログラム1,000円(④は無料)、1日フリーパス2,000円

主催:福岡インディペンデント映画祭実行委員会

TEL:090-3417-5709(担当:西谷)MAIL:fidff\_since2009@fidff.com

助成:公益財団法人日韓文化交流基金

※上映時間など詳細についてFIDFFホームページをご参照ください。(www.fidff.com)

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

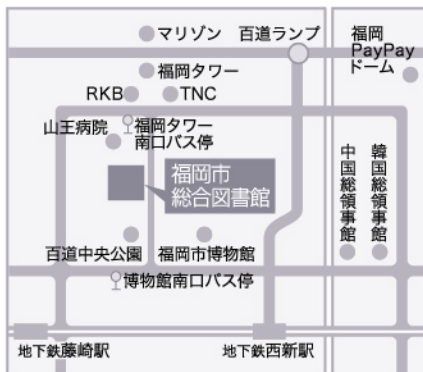
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)Tel.092(852)0600 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話0570-00-1010)に直接お問い合わせください。

助成:公益財団法人

福岡文化財団

発行:映像ホール・シネラ実行委員会

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。